

教科	科目	単位数	学年	学科	区分	使用教科書
工業	陶磁器デザイン	3	4	デザイン	必修	なし

1. 学習の到達目標

これまでのデザインの学習を生かし、型による陶磁器の成形方法、実用的な加飾方法について学習し、生活の中で使われるもののデザインを企画、制作する能力、技術を学習する。

2. 学習の評価

評価の観点	関心・意欲・態度 20%	思考・判断・表現 20%	技能 50%	知識・理解 10%
評価の規準	身の回りの生活に関心を持ち、その中から課題を自ら設定し、陶磁器デザインの基礎的・基本的な学習の態度を身につけている。	とりまく環境の中から課題を設定し、より良いデザインを考える能力を身につけている。	適切な加工方法を選択し、制作技術を研究していく中で、作品制作に必要な実践的な能力を身につけている。	課題を理解し、その解決を図るために、これまでに学習してきたことを十分活用し、製品を作り上げるための知識と技術を身につけ、総合的に理解する。
評価の方法	服装、実習態度、レポート、技能、作品で総合的に評価します。			

3. 教科からのメッセージ

設定された条件に沿ってよりよい製品を自ら計画、立案し、実際に生活の場面で使うことができる陶磁器の制作を行います。

年間指導計画 科目名 陶磁器デザイン 3 単位 4 学年

学期	月	学習項目 (単元・考査等)	主な学習内容
前期	4	オリエンテーション 器の和紙染めを用いた パターンデザイン テーブルウェアの制作	身の回りにある陶磁器について。
	5		和紙染め技法による加飾技法を身に付ける。
	6		モチーフを決め、デザイン処理し、和紙の型紙つくり。
	7		鉢に呉須で和紙染めを施す。 施釉→還元焼成
	8		【合評会】。 実際に使われているテーブルウェアについて調べ、モチーフを決定する。
	9		型抜き成型方法を学習する。 図面を描く。 →成形→素焼き→加飾→本焼き
後期	10	たたら成型による 皿の制作	【合評会】
	11		たたら成型方法（板づくり）を理解した上で形を決定、図面を描く。
	12		型の制作
	1		成形作業
	2		焼成 加飾 焼成
			【合評会】 実際に使ってレポートにまとめる。